

# 2020年度第1四半期 決算説明資料

2020年5月28日

株式会社太陽工機

(証券コード:6164)











売上高

18.9 億円 前年同期比 △ 31.1 %

営業利益

1.5 億円 前年同期比 △ 71.2 %

営業利益率

**8.3** % 前年同期比 △ 11.7 p

▶ 前期から続く受注環境低迷を主因に減収

新型コロナウイルス感染拡大にともなう海外主要国ロックダウン等も影響

受注高

10.9 億円 前年同期比 △ 59.0 %

**▶ 設備投資の様子見基調が継続、感染拡大により先行きの不透明感が強まる** 

年間配当

1株当たり 30 ~ 40円 (前回発表予想:1株当たり50円)

▶ 配当予想を修正 中間配当15円/期末配当15~25円



Financial Statement

# 第1四半期 決算概要

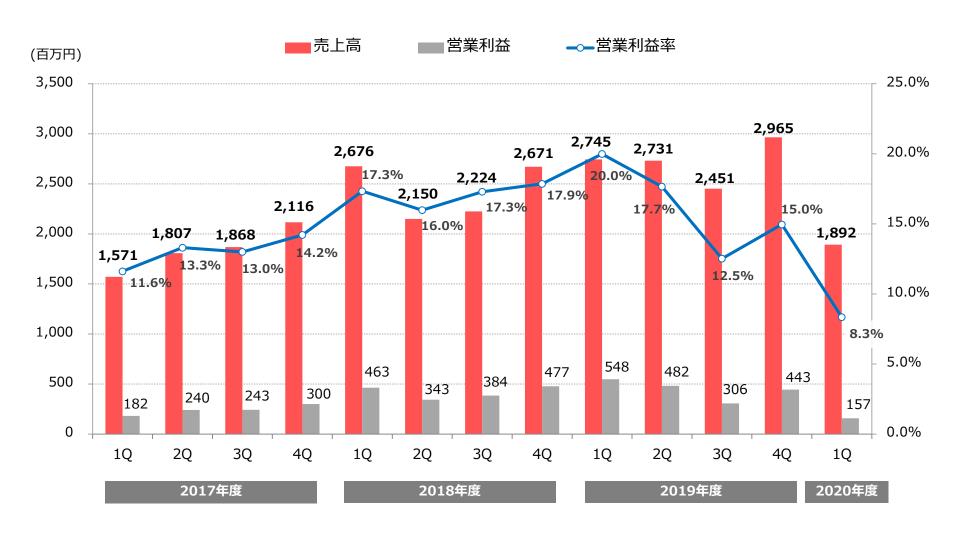
3

## 業績は一時的に停滞

(五七四)	1Q(1-3月) (百万円)		前年同期比
(ロハロ)	2019年度	2020年度	即十四规心
受 注 高	2,675	1,096	△59.0%
売 上 高	2,745	1,892	△31.1%
営 業 利 益	548	157	△71.2%
営業利益率	20.0%	8.3%	△11.7 p
経常利益	552	160	△71.0%
当期純利益	375	107	△71.2%

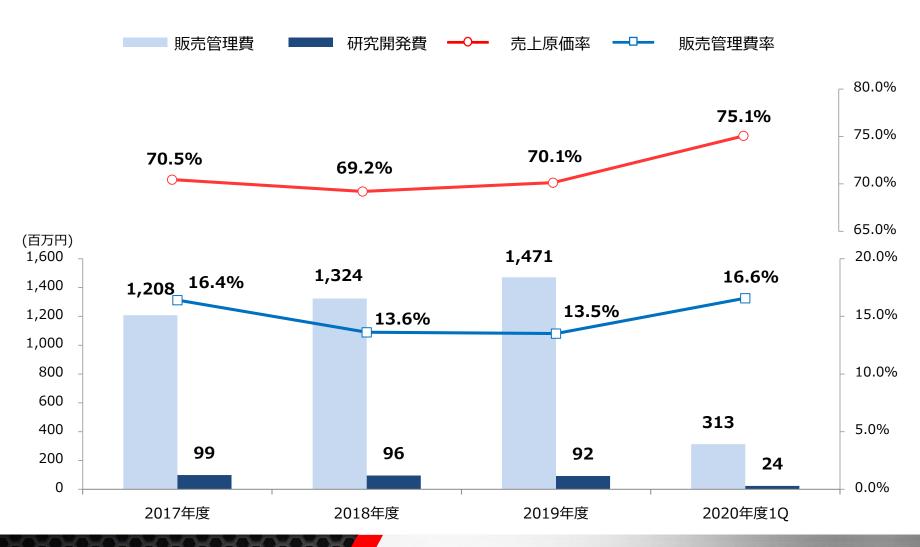


## 売上の減少により、営業利益率は低下





## 難易度の高い単体機が多く、売上原価率は上昇

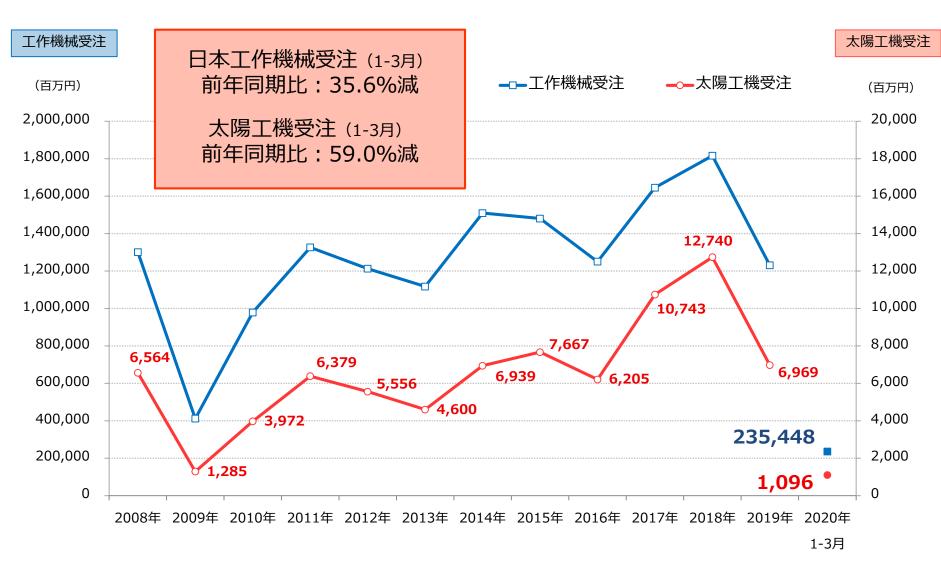




## 財務基盤充実、当面の手元資金確保

(百万円)	2019年度	2020年度	
(日月日)	12月31日	3月31日	増減
資産の部			
流動資産	6,483	6,283	△ 199
現金及び預金	1,445	2,302	856
売掛金	2,560	1,428	△ 1131
棚卸資産	2,424	2,492	67
その他流動資産	52	60	7
固定資産	1,331	1,297	△ 34
建物	503	495	△ 8
土地	312	312	0
その他有形固定資産	255	244	△ <b>10</b>
無形固定資産	56	54	△ 2
繰延税金資産	105	86	△ 19
投資その他資産	97	104	7
資産合計	7,814	7,581	△ 233

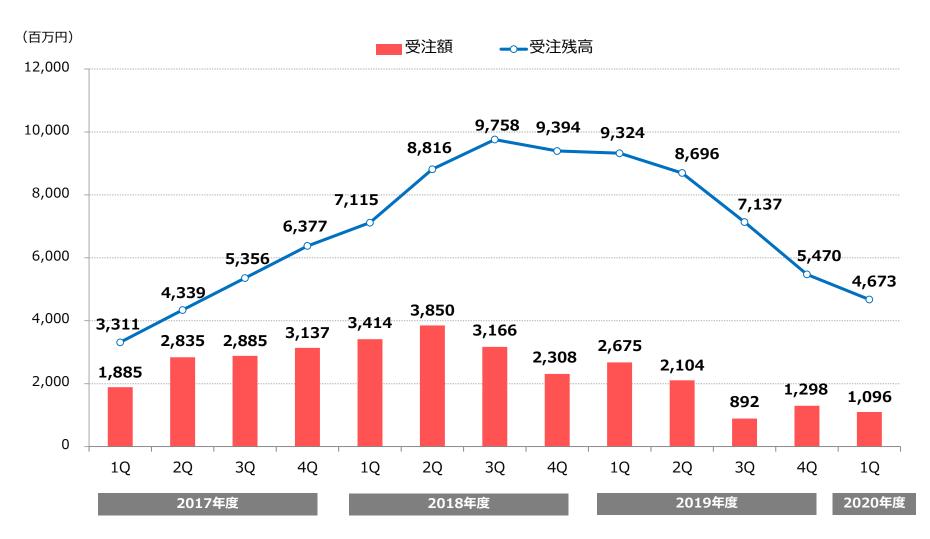
(百万円)	2019年度	2020年度		
			ı	
	12月31日	3月31日	増減	
負債純資産の部				
流動負債	1,156	983	△ <b>172</b>	
買掛金	259	372	112	
リース債務	72	72	0	
未払法人税等	329	39	△ 289	
製品保証引当金	67	65	△ 2	
役員賞与引当金	_	6	6	
その他流動負債	427	427	0	
固定負債	371	351	△ 20	
リース債務	342	324	△ 18	
長期未払金	28	27	△ <b>1</b>	
純資産	6,286	6,245	△ 40	
株主資本	6,286	6,245	△ 40	
負債純資産合計	7,814	7,581	△ 233	



※工作機械受注…日本工作機械工業会受注実績より

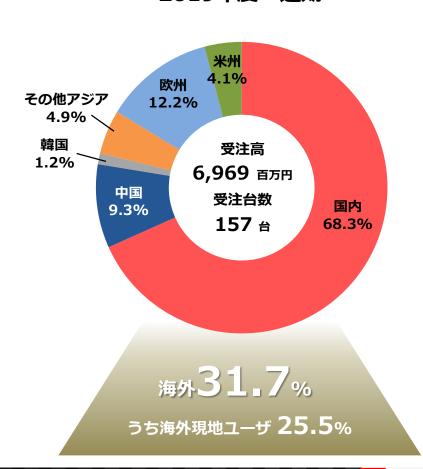


## 設備投資需要は様子見状態が続く

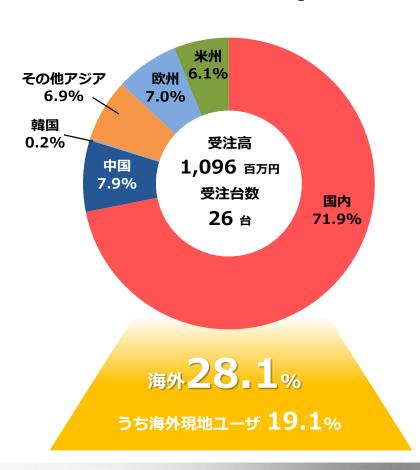


## 海外受注比率は低下

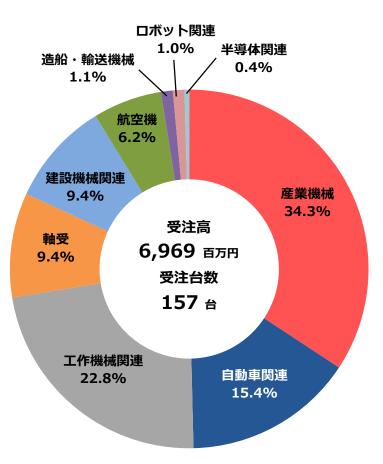
2019年度 通期



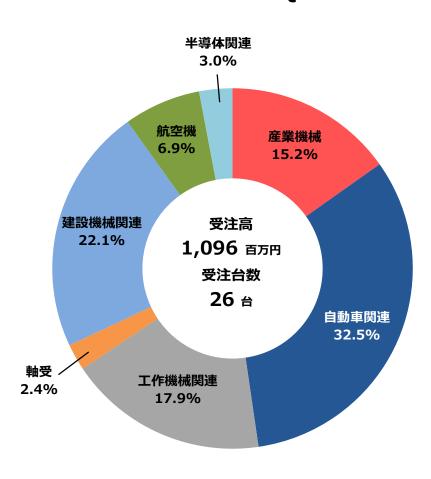
2020年度 1Q



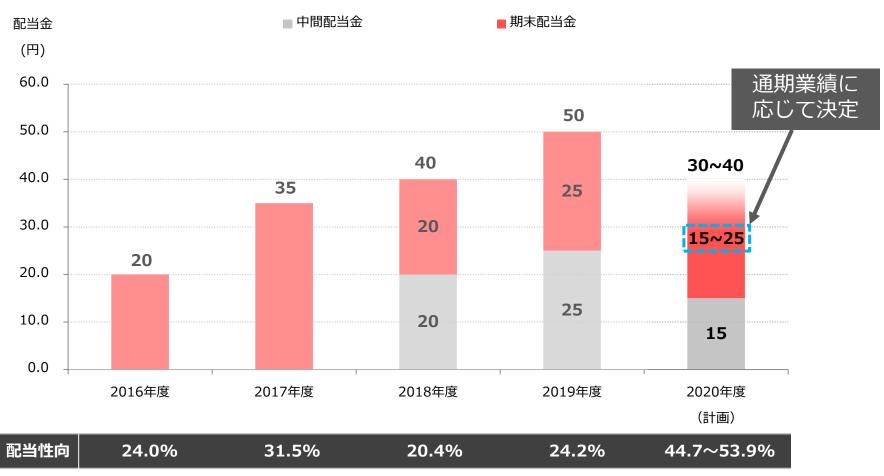
## 2019年度 通期



## 2020年度 1Q



## 期末配当は業績に応じて決定



※2019年度より株式分割後(2分割)の配当金となっております

※2018年度以前の数値は各期を比較しやすいよう、株式分割後の金額にて記載しています







## 感染拡大の収束を見据え、販売体制を強化中

### 太陽工機 ヨーロッパ

所在地:ドイツ・ビーレフェルト人 員:DMG森精機当社専任スタッフ3名(営業・技術・サービス各1名)

### 欧州

- DMG森精機の現地社員を当社担当者 として専任化し、密に連携。実績を 伸ばしている
- 自動機・システム機への要望が多く、レベルの高い営業対応が求められる
- 引合いはあるものの、主要国のロックダウンにともない最終的な商談等が延期、受注は様子見の状況
- 現在、営業活動は原則リモートワーク対応中であるが、ロックダウン解除の状況に応じて商談を再開、受注獲得に繋げるべく対応予定

### <DMG森精機と連携し現地企業に拡販へ>

● 海外営業部を中心に、営業部門の人員を増員

前期末25名 ⇒ 現在29名体制へ増強

うち2名は海外営業部門で現地営業マンとの連携を強化

- 現地駐在員・技術スタッフによる技術提案型営業活動の強化
- サービススタッフ駐在による海外サービス体制の確立

### 本社工場



### 太陽工機 中国

所在地:上海

人 員: 当社スタッフ3名

(営業2名・サービス1名)

### 中国

- 製造業の大規模化や技術力の向上に伴い、研削盤需要の高まりがみられる
- 建設機械の需要が多い一方、自動機・システム機の 需要が少ない。顧客の特徴やニーズに合わせた製品 提案を実施中
- 現在、通常営業へ戻りつつあり、商談等の営業活動 を積極的に再開している

### 太陽工機 USA

所在地:シカゴ

人員:当社スタッフ2名(営業1名・サービス1名)

DMG森精機当社専任営業スタッフ1名

### 米州

- 工作機械の歴史は長いが、現在残っている現地 メーカーは少なく、更新需要が見込める
- 本社から技術営業・サービス担当を派遣し拡販 を狙う
- 現在、今後の経済活動の再開へ向けて商談等の 準備を行っている



## Index

・新型コロナウイルス感染症に関する当社の対策について?	p.17
・新型コロナウイルス感染拡大による影響について?	p.18
・当期の業績予想・配当予想について?	p.19
・新工場用地の取得について?	p.20



## Q:新型コロナウイルス感染症に関する当社の対策について?

■A: 当社は、従業員及びその家族に加え、お取引会社様をはじめとした ステークホルダーの皆様の安全を最優先として、感染症対策に 取り組んでおります。具体的な取り組み内容は、以下の通りです。

## ・社内対応:

検温、消毒やマスク着用、定期的な換気、部署別に休憩時間を分ける等のソーシャルディスタンシング を徹底。また、来社されるお取引会社様・ご来場者様へは問診票記入・消毒・検温等を依頼。

(参考:㈱太陽工機「新型コロナウイルス感染症予防のご協力お願い」http://www.taiyokoki.com/news/pdf/20200302.pdf)

## •出張:

不急の国内出張については、原則オンライン会議により対応。 急を要する場合に限り、基本的に車での移動にて実施。 海外出張については、日本政府発表の海外安全情報に従う。

## ・国内営業所:

特定警戒都道府県に指定されていた地域に所在する東部・中部・西部営業所については、公共交通機関の使用を禁止。

## ・海外拠点:

現地政府及びDMG森精機の指針に基づいて対応。

(参考: DMG森精機(株)「COVID-19に関する当社対応について」https://www.dmgmori.co.jp/corporate/news/pdf/20200309\_covid.pdf)

今後も国や地方公共団体の方針を注視し、状況に応じた効果的な対策を講じることで、感染防止に努めてまいります。ステークホルダーの皆様におかれましては、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## Q:新型コロナウイルス感染拡大による影響について?

【A :現状把握している影響は以下の通りです。

## ・営業活動について:

国内外におけるロックダウンや緊急事態宣言の影響により、お客様との商談等の見合わせが発生しております。特に海外については、渡航の制限や自粛による商談等の中止・延期によって、受注の先送りが顕著となっている状況です。

## ・展示会について:

当社のプライベートショーを含め、今年度当社が出展予定であった国内外の展示会は、 大部分が中止または延期となっています。現状開催予定の展示会についても、感染拡 大の状況を考慮しながら出展の可否を判断していく方針です。

## ・生産と出荷について:

生産については、感染防止対策を強化したうえで通常通りの稼働を継続しており、 原材料の調達を含め特段大きな問題は生じておりません。

出荷については、お客様立会いでの精度・機能等の確認作業が一部延期となっている 影響で、出荷(売上計上)の先送りが生じている状況です。

現在、オンラインでお客様と精度・機能等の確認をできるよう準備を進めており、 今後は遠隔からのリアルタイムな立会いができるようになるため、予定通りの 出荷(売上計上)が可能となる見込みです。



Q : 当期の業績予想・配当予想について?

A:2020年12月期の業績予想及び配当予想につきましては、 新型コロナウイルスの感染拡大により不透明な状況にあり、 今後の感染拡大や経済活動再開の程度に応じて複数の 受注・売上シナリオが想定されるため、その想定に基づいて 上限・下限を設定したレンジ形式にて修正いたしました。

(単位:百万円 ※配当を除く)

売上高	7,000	~	8,000
営業利益	500	~	800
経常利益	490	~	790
当期純利益	330	~	530

型元代	中間配当	:	15円
田山田	期末配当	:	15~25円

- 期末配当については、通期の当期純利益の水準に応じて15~25円の 範囲内で決定する予定です。
- 上記の業績予想及び配当予想は、現時点において入手可能な情報に 基づいて算定したものであり、実際の結果とは異なる場合があります。



## Q:新工場用地の取得について?

A:新工場用地の取得については、生産能力の増強を目的として 長岡市西部丘陵東地区の土地(約105,000㎡)を取得することを、 2018年5月8日開催の取締役会において決定しております。

土地の取得時期については、第1期分(約61,800㎡)を2020年中、第2期分(約43,200㎡)を2021年中に長岡地域土地開発公社より取得する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大により当社業績への影響が見込まれるため、当該感染症が一定程度収束するまでの間、取得時期の決定を延期としております。

なお、本件土地取得は、将来の需要拡大に向けた生産体制の構築を目的としているため、当該感染症の影響度を見極めながら、 土地の取得時期及び工場の建設について、慎重に準備を進めていく方針です。

## TAIYO KOKI

証券コード:6164

IRに関する お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL: 0258-42-8808 URL: http://www.taiyokoki.com



### 【将来予測について】

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ▶為替相場の変動
- ▶当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- **▶タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力**
- ▶当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

### 【お取り扱い上のご注意】

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。